

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)		百貨店（役員）	・化粧品や高額品について、消費税再増税前の駆け込み需要が想定される。
		コンビニ（経営者）	・2～3か月先は夏休みに入り、気温の上昇とともに、来客数やドリンク等の販売が増えることもあり、良くなる。
		コンビニ（経営者）	・気温の上昇に伴い、ソフトドリンク、アイスなどが売れる。
		家電量販店（店長）	・消費税再増税の影響で良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・夏休みに向けて、他の商業施設にまねのできないオリジナルイベントを多数準備している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏場はエアコン需要があるので、売上は若干上がると思うが、その後は心配である。
		百貨店（営業担当）	・店としてお得なイベントなどを行うと、客の反応が極端に良くなる反面、イベントの前後は極端な不振に陥り、月トータルで、前年を下回る結果が続いている。節約志向はますます強まっているが、3か月先になると消費税再増税も視野に入る頃となるので、少しずつ駆け込み需要が見込まれる。
		コンビニ（経営者）	・競合店が閉店したということで、今後少しは良くなるだろうとみている。
		衣料品専門店（統括）	・やや良くなると期待を持って回答している。例年なら、そろそろ客が動き出す時期だが、今年に入って、今までと大きく違い、景気の悪さが身に染みている。今後は祭礼の時期になるので、これから期待ができるかと思っている。
		乗用車販売店（販売担当）	・当社は観光地を控えている物産店やホテル関係がユーザーなので、今後6～9月辺りまでは例年どおり、多少は良くなる。
		都市型ホテル（営業）	・暑い夏になると思われるので、暑気払い等の宴会や夏に向けての企画があり、今後の伸びが期待できる。
		旅行代理店（従業員）	・販売量が増えており、夏休みも控えているため、更に増加の見込みである。
		通信会社（経営者）	・9～10月に行われる国体に注目し、期待も込めてやや良くなる。
		通信会社（営業担当）	・消費税再増税次第だが、戸建て、マンションの購入者を中心に、再増税前に物件の駆け込み購入が増える可能性がある。
		通信会社（局長）	・当県では9月から国体が始まるため、経済は活発になる。
		商店街（代表者）	・商店街の中央に新築の肉屋が、近々オープンする、最近では少ない新規開店に、商店街では大いに期待している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・天候の影響が一番である。今年も前年並みに客が動くのではないかとみている。消費税再増税が景気を下げる主因のような感じもしている。
		百貨店（店長）	・改元などのお祝いムードはあるものの、消費に影響しているものは少ないと感じている。米国の対中施策など、予断を許さない状況である。
		スーパー（商品部担当）	・外的要因の変化もなく、現状維持が続きそうである。景気上昇の要因が見当たらない。
		コンビニ（経営者）	・今後、売上、来客数が増えるとは思わないので、変わらない。
	コンビニ（経営者）	・売上は横ばいである。しかし、経費上昇が利益を圧迫しており、苦しいところがある。特に、人件費の高騰や人員不足の上に、有給休暇の扱いに苦慮している。	
	コンビニ（店長）	・5月下旬に今年に限った比較的大きなイベントが、すぐ近くで行われた。残念ながら、来客数増には余り寄与していない。近隣の商業力が落ち、月ごとに地盤沈下が感じられる。せめて横ばいを期待している。	
	衣料品専門店（販売担当）	・年金支給の偶数月の合間に、取り置きや予約をしていく客がいる。今後も年金支給月には、若干現金が動くが、それ以外の期間はほとんど客が来ないので悪い。本当に万策尽き、かなり厳しい。	
	自動車備品販売店（経営者）	・良くなる、悪くなると感じられるものが、特にない。	
	住関連専門店（店長）	・消費税再増税特需前で、少々変動はあるが、一時的なものと感じる。	

住関連専門店（仕入担当）	・一進一退を続けながら、個人消費の閉塞感は拭えない。特に、生活関連商材への余計な消費、支出はしない。食品類の値上げ傾向が続くなか、節約志向は継続する。
その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・新しい需要が生まれるような商品群が依然としてないので、今までと同様、低水準のまま停滞している。
一般レストラン（経営者）	・良くなる要因がみえない。もし消費税再増税が見送られたら、一時的な景気回復がみられるかもしれない。
その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・給食業務の外部委託は増加傾向が続いている。一方で、人手不足は深刻となっており、安易に受託しにくくなっている。人材獲得並びに定着率向上と人件費等の上昇に対するコスト吸収力の向上が、重要になってきている。
都市型ホテル（経営者）	・景気が上向く要因がない。
都市型ホテル（営業担当）	・2～3か月後は、数値的には今よりは上がってくると考えられるが、景気という点でみると、今のところは上向く根拠は見当たらない。
都市型ホテル（副支配人）	・国体を控えているため、それまでは安定した売上が見込めそうである。8月の大規模イベントにも、かなり期待している。
タクシー運転手	・良くなる要素がない。
タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが悪いので、この先も変わらない。
テーマパーク（職員）	・ゴールデンウィークの反動により、来客数の動きが弱いと感じる。
競輪場（職員）	・1年で一番大きい記念競輪の売上が、ほぼ前年並みであったことと、他場の売上も同様に推移している。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地方の景気改善は、当分見込めない。
設計事務所（所長）	・今年度初めからの仕事が継続している。新規受注があれば、やや良くなる。
百貨店（営業担当）	・消費税再増税の前の駆け込み需要に期待したいが、その後の反動減や増税による消費マインドの低下は不可避であり、景況の悪化が懸念される。
乗用車販売店（経営者）	・首相と米国大統領の会談の中で、「8月には両国の皆さんに話ができる」とのコメントがあった。その内容が、農産物等と自動車とのパートナーだったら、大変なことである。また、消費税再増税が実施されたら、商品価格が大きいだけにつらい。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・現在の受注状況からは減少し、受注残も減少傾向が続く。
一般レストラン（経営者）	・暑さや夏休みなど毎年8月は閑散期に入るが、それを覆す良い材料が見当たらない。米中貿易摩擦の影響や物価上昇などの影響がないとは言い切れない。
スナック（経営者）	・平日の集客が減っているが、来月もそのような動きになるのではないかと予測している。
観光型ホテル（経営者）	・8月初旬までは、来客数は例年を下回り、以降は戻ると予想している。前年同時期の先行予約数を見ると、6～7月は非常に厳しく、一部例外はあるにしても、地方のリゾートや温泉地は、大体同じような来客数の推移をしているのではないかと。
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は6～8月も好調に推移している。宴会受注は6月は大型宴会が、前年の半分と非常に厳しい。7月は学会の受注等もあり好調である。8月は工事の関係で営業できない日があるため、厳しい。
旅行代理店（経営者）	・高額商材が敬遠されている上に、来店客のインターネットへの流出が止まらない。
旅行代理店（所長）	・株価下落や世界情勢の先行き不安などが影響して、消費の鈍化が進むと思われる。また、猛暑になるとどうなるかという不安要素もある。
タクシー（役員）	・慢性的な人手不足である。
通信会社（総務担当）	・来月から端末の実質販売価格が大幅に上がる。2～3か月先は新商品が出そろって販売が増える時期だが、例年のように売れなくなると予想される。
ゴルフ場（総務担当）	・6月以降の予約は、前年比マイナスとなっている。前年実績3,226名に対して予約は2,298名となっている。客が梅雨時期の天候を敬遠して、予約を入れていない。7～8月は例年どおりの予約状況で、やや低迷している。

	美容室（経営者）	・最低賃金は1,000円が妥当などと上場企業のトップが声高に言うのはいかなげなものか。目標インフレ率が未達な状況で、零細企業にとっては死活問題である。
	設計事務所（所長）	・消費税増税の影響で、建築需要が減る。
x	家電量販店（営業担当）	・これから販売が増える時期のための在庫投資でも、仕入量が少ない。特に、季節商材の動きが悪い。
x	通信会社（経営者）	・消費税増税前の駆け込みらしき注文はややみられるが、増税後のことを考えると不安である。
x	美容室（経営者）	・美容業は働く人の手作業で成り立つが、この半年間で3名が退職した。同業者が多いなか、条件だけで動く若い人が多く、当店では勤続年数が長い先輩だけが残っていく。先行きに不安材料だけで、経営に力が入らない。働き方改革も大企業と小企業とは同じようにはいかない。店を閉めることも頭がよぎる。
x	住宅販売会社（経営者）	・良くなる要因が全く見つからない。年末が怖いくらいである。
企業 動向 関連  (北関東)	-	-
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数、受注量等から、収益は改善すると思われる。
	化学工業（経営者）	・瞬間的な忙しさなのか多少の継続なのかが不透明で、現状とそれほど変わらないのではないかと。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今月は令和への改元があったので、多少それに関連したような感じで、景気は良い。ただし、この先はどうか少し不安で、分からない。
	一般機械器具製造業（経営者）	・急激な増減産の情報はないものの、既存の仕事の売上は徐々に減る傾向にある。ただし、新規品の立ち上げも予定しており、減少分をカバーできる見込みである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の動向に、新機種等の計画がみられない。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・得意先が13社くらいあるので、2～3か月前から今後も繁閑はばらばらで、この先も変わらない。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・3か月後は、太陽光発電事業では台風シーズンなどで、売上は落ちる。ただし、他の主力部門が伸びる予定なので、今と変わらない。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
	輸送業（営業担当）	・梅雨に入り、除湿器等の関連商材の輸送量は増える予定だが、その後は天候次第で状況は変わる。夏物家電、エアコン、扇風機などの物量は、前年並みの輸送依頼となる見込みである。
	司法書士	・当地のような田舎には影響が出てくるのが遅れているのかどうか分からないが、余り変わらずにこのままいくのではないかと。
	食料品製造業（経営者）	・消費税増税がボディーブローのように効いてじわじわと悪くなるのではないかと。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・今後の売上は、不確かである。
	金属製品製造業（経営者）	・季節的な要因もあると思うが、2～3か月先の仕事は少なくなる予定である。
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量がかかり落ちてきて、多少、人余り的な状況である。先行きが厳しい状況は続く。
	建設業（総務担当）	・海外情勢が不安定で、投資を控える動きも出てきているとの話を聞く。余り良くなるとは考えられない。
	通信業（経営者）	・悪くなることはあっても、良くなる状況はなさそうである。
	不動産業（管理担当）	・資機材の値上がりや人件費の上昇分を、取引先に転嫁しようと値上げ交渉を試みているものの、更なる引下げ圧力が強く、売上増は見込めない。利益が減少する見込みである。
	広告代理店（営業担当）	・消費税増税による大不況の再来におびえている。
	社会保険労務士	・外部要因による景況感の悪化やボーナスの伸び悩みなどで、個人消費が悪化しそうである。
x	金属製品製造業（経営者）	・8～9月の昇降機の生産台数が落ちる。エレベーターは微増だが、エスカレーターは4割減である。

	×	建設業（開発担当）	・新年度がスタートしたが、前年、前々年と比べても30%以上の減少と大変厳しい。当社売上では、前期受注分なので、今のところ、前年比10%増である。今後の公共工事発注分を注視していきたい。
雇用 関連		-	-
(北関東)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・公共事業等や一般住宅等の増改築は、人手不足による影響もあって、求人数は活発さを見せている。工事関係の職人も人手不足で、それに伴う関連製品の販売等の営業職も人手不足である。機械関係の製造ライン等は、在庫調整等で、動きが幾分緩み、暇なようである。暑さがどこまで安定するか分からない。
		人材派遣会社（経営者）	・今のところ、忙しい会社が全くなく、非常に寂しい。
		人材派遣会社（社員）	・企業からの受注はあるものの、人材確保の状況が改善する見通しは立たないため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・新規求人倍率は、直近3か月1.77~2.00倍で推移しており、前年同期と変わらない。来年3月卒業予定者の採用検討事業所を対象に、求人受理説明会を行ったが参加事業所数は、前年並みである。採用数についてのアンケートでも、前年並みを予定している、との回答が多くみられる。
		職業安定所（職員）	・10連休の影響で、サービス業を中心に売上増となった企業もあるが、連休中の在庫確保などで受注増となり、一時的に残業が増えたものの、連休明けは稼働日数も少なく売上等が伸び悩んだ企業もある。秋には消費税増税も予定されているため、景気が上向きとは感じられない。
		人材派遣会社（管理担当）	・自動車関連部品の生産計画が減少しているため、やや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・米中関係の悪化等、世界経済の先行き不透明感が今後増してくるとみている。
	×	*	*